

令和元年10月部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和元年9月25日（水） 午前8時35分から午前10時10分

◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室

◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・9月15日に長野市議会議員一般選挙が行われた。今回の選挙は定員39人に対し52人が立候補した。地方議員のなり手不足が言われる中、立候補者が多く出たことは喜ばしいことと感じたが、投票率は40.31パーセントに留まり、投票率の下落傾向に歯止めがかからなかったことは残念である。投票率向上のための対策を考えていかなければならない。
- ・今回の改選に伴う臨時議会を10月8日に招集する予定である。初当選の議員に対しても、市行政への理解を深めていただけるよう丁寧な説明をお願いしたい。
- ・今年度も残り半年となった。各部局においては、引き続き懸案事項にしっかりと対応してもらいたい。昨日から新年度予算編成に係る新規・拡大事業のヒアリングを行っているが、新年度予算編成に当たっては、財政状況は厳しいものの、国の交付金等の特定財源をできるだけ活用して充実した予算となるようお願いする。
- ・今月21日から30日まで秋の交通安全運動が行われる。市内の交通事故の件数は減少傾向であるが、死亡事故が6件発生している。引き続き交通事故防止に努めてもらいたい。庁用車の事故も前年と比べ減少しているが、依然として不注意や判断ミスによる事故が起きている。スピードを出しすぎない、追い越しをしない、交差点での右左折に注意する、わき見をしないという基本的なことを守れば大半の事故は防げるので、改めて徹底をお願いしたい。
- ・秋本番を迎え、本市のイベントが多数開催される。先日もながの子ども・子育てフェスティバル、伝統芸能子どもフェスティバルが桜スクエアや芸術館で行われたが、親子連れで大変にぎわっていた。イベントに限らずどのような事業にも言えることだが、やる以上は必ず成功させなければならないというつもりで企画、運営してもらいたい。

1 報告事項

(1) 個人市民税・県民税申告相談への応援要請及び業務の見直しについて（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

2 協議事項

(1) 令和元年10月市議会臨時会提出議案について

① 条例の改正等について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

② 令和元年度 10 月補正予算（案）について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

（2） 指定管理者候補団体の決定及びモニタリング評価結果について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

○質疑

〔副市長〕 今回の選定で指定管理者が変更になる施設が3グループあった。現在の指定管理者が応募しなかったものもあるが、モニタリング評価が低かったため新規事業者が選定されたものもある。指定管理者が変更になり新しい事業者が管理する施設については特に指導監督をしっかり行ってほしい。また、指定管理者制度は施設管理を代行しているだけで、設置者はあくまで市であることを再認識して主体的な施設運営を行ってもらいたい。モニタリング評価は指定管理者を継続して選定するかどうかの判断材料になることも認識して行ってほしい。

〔市長〕 指定管理期間の途中でも、評価も踏まえて廃止すべき施設があれば廃止するという意識をもって対処してほしい。

〔財政部長〕 事業者が提案してきた指定管理料については、十分中身を精査した上で予算要求してほしい。

〔副市長〕 各年度の指定管理料については、日頃から指定管理者の管理状況をよく把握するとともに、モニタリング評価結果も活用して指定管理者と協議してほしい。

○今後の方向性

原案を了承。

（3） 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて（環境部）

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。（資料5参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

（4） 長野市公営住宅等ストック総合活用計画の決定について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。（資料6参照）

○質疑

〔市長〕 計画期間が終了する10年後までには、和式トイレの住戸や浴槽のない住戸は解消できる見込みか。

〔建設部長〕 1人親世帯用の住戸には優先的に浴槽を設置したい。それ以外についてはできる限り設置していきたい。

〔住宅課長補佐〕 現在、中高層住宅は全て洋式トイレになっている。古い木造平屋住宅では和式トイレのものがまだ残っているが、この計画の中で除却していくこととしている。

〔市長〕 浴槽設置等の改修費用が高額である。大量発注して単価を下げるなどして、同じ予算でより多くの住戸を改修できないか。

〔住宅課長補佐〕 人件費等の経費が上がっているため建築費が高くなっている現状であるが、改めて検討する。

〔副市長〕 退去して住人のいない住戸から改修を行っていると思うが、年間どのぐらいの退去があるか。

〔住宅課長補佐〕 廃止するものを含めて、年間150戸から160戸程度である。

〔副市長〕 同じ団地で改修済みの住戸とそうでない住戸が混在していると、家賃もあまり変わらないので、不公平感をもつ住人もいます。以前から入居している人にも配慮してもらいたい。

〔市長〕 改修に関してサウンディング型市場調査など民間事業者の意見を聞く方法も検討してはどうか。

〔建設部長〕 検討する。

〔副市長〕 従前居住者用住宅などを市営住宅に転換する予定だが、それらの戸数も計画戸数に含まれているのか。

〔建設部長〕 長期計画には含まれている。

〔副市長〕 市営住宅以外に、合併地区に若者向け住宅や特定公共賃貸住宅があり、空室が多い。建設部を中心に、地域・市民生活部や人口増の関係で企画政策部も加わって対応を検討してほしい。

○今後の方向性

原案を了承。

3 その他

(1) 長野県総合防災訓練について（総務部）

標記事項について、危機管理防災監から説明を行った。（資料7参照）

○質疑なし

(2) 令和2年度予算編成方針及び長野市財政推計について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明を行った。（資料8参照）

○質疑等

〔市長〕 生産年齢人口の減少に伴う税収の減少や、高齢化率の高まりに伴う扶助費の増加など財政面で厳しい時代になるが、将来に希望をもって市政を進めていきたい。女性や高齢者で働いている人が大幅に増加している。また、高齢者が社会で活躍することで扶助費の増加を抑えることもできる。市内では高齢者の数は増加しているが寝たきりの人の数は減少しているといった実例もある。各部局では、子育て支援など女性が働きやすい環境を整備したり、高齢者の活躍を支援するような施策を充実させてもらいたい。何事もプラスに考えることが重要である。

(3) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（平成30年度分）について（教育委員会）

標記事項について、教育次長（行政）から説明を行った。（資料9参照）

○質疑なし

以上